

クリスマスのおくりもの⑥

ミナの頭には こまっている みんなの顔と、
大事にしてきた ガラスの星との 思い出が うかび
ました。

「これを 使ってもらえたら、ツリーが かんせい
する かもしれない」

そう思ったミナは、ゆうきを出して その星を
町長さんに さし出しました。

「これ、つかってください」

町長さんは おどろいたあと、温かい えがおで
「ありがとう」と 言いました。

町の人たちも「すごくきれいな星！」「ミナちゃ
ん、ありがとう」とよろこびました。

ミナの おねは ドキドキしていましたが、同時に
少し ほこらしい 気持ちになりました。

「これを使ってもらえたら…」の 「これ」とは、
なんのことをさしていますか？

ミナは ガラスの星を だれに わたしましたか？

まちのひとたちは どんな きもち でしたか？

あなたは、ゆうきをだして どんなことをしたことが
ありますか？【自分で考える】

